「振り分け」によるクラウド通信の負荷解消

IIJクラウドプロキシサービス を活用した課題解決 ご紹介資料

IIJ
Internet Initiative Japan

© Internet Initiative Japan Inc.

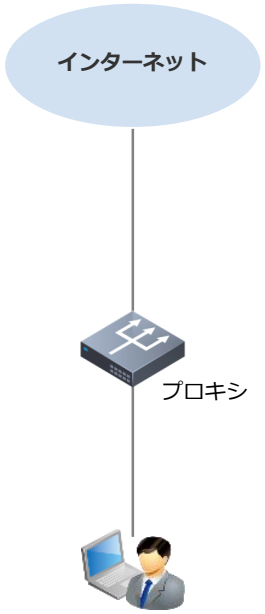
IIJクラウドプロキシサービスとは

クラウドサービス利用時におけるWebアクセスの課題（例えば、セッション数の増加、トラフィックの増加によるゲートウェイ機器の圧迫など）に対して、最適な経路に振り分けることで解決するネットワークサービスです。

クラウドサービス利用によるネットワーク課題を解決

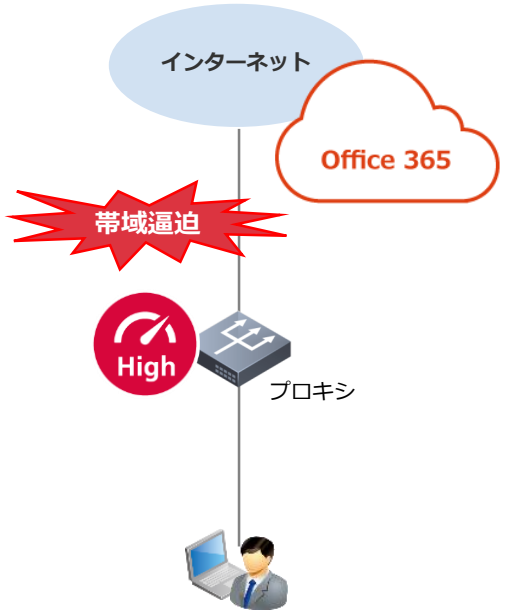
クラウドサービスを利用することで、インターネットゲートウェイの設備と運用に対する負荷が増大します。その課題を、IIJクラウドプロキシサービスは解決します。

1. 従来のWebアクセス環境（概略）



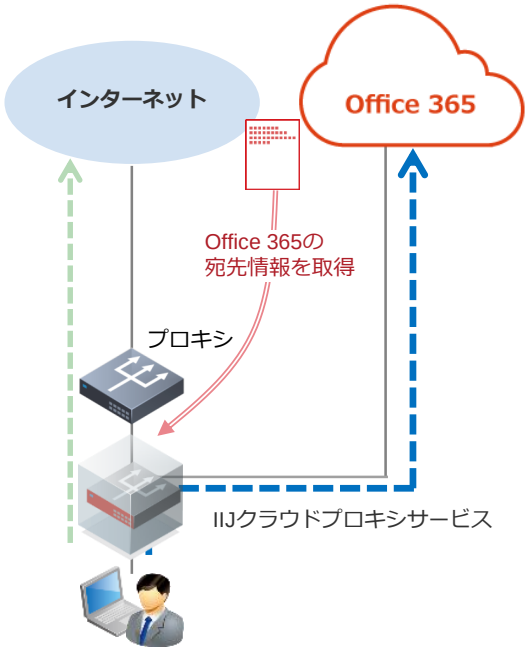
社内からWebにアクセスするときは、PCで指定したプロキシを介して、ファイアウォール、ルータなどのネットワーク機器を通る。

2. クラウドサービス利用で課題発生



Office 365などのクラウドサービスの導入で、**通信量が急増**、インターネット接続回線の**帯域が逼迫**、**セッション数増大**によるプロキシやファイアウォールの**負荷が上昇**。

3. IIJクラウドプロキシサービスで課題を解決



クラウドサービスの通信は、クラウドプロキシサービスの**自動振り分け機能**で既存プロキシを迂回。頻繁に変わる宛先は自動更新されるため運用の手間がかからず、回線やプロキシ機器の増強も不要に。

お客様の環境に応じて、柔軟な組み合わせが可能

基本機能として宛先リストテンプレートをご提供。クラウドプロキシは、サービス提供のクラウドバイパスとお客様環境の機器から選択できます。

基本機能

宛先リストテンプレート
特定クラウドサービスの宛先リストを自動更新。
振り分け先指定のテンプレートとしてご利用いただけます。

- 最新情報の取得、通知
- 独自フィルタグループの定義

＋

クラウドプロキシを選択

サービス提供機能のご契約の場合
クラウドバイパス

- セッション数単位
- リージョン選択
- ルールによる振り分け
- インターネット接続の提供
- コンパネ提供
- 振り分けログ提供

お客様設備機器をご利用の場合
外部クラウドプロキシ連携

- コンパネ提供
- 接続元IP制御
- API提供
- サンプルコード提供

A10と組み合わせる場合はこちら！

＋

有償オプション

- IIJインターネットアクセスサービス接続オプション（INA接続オプション）※1

※1：クラウドバイパス専用オプションです。

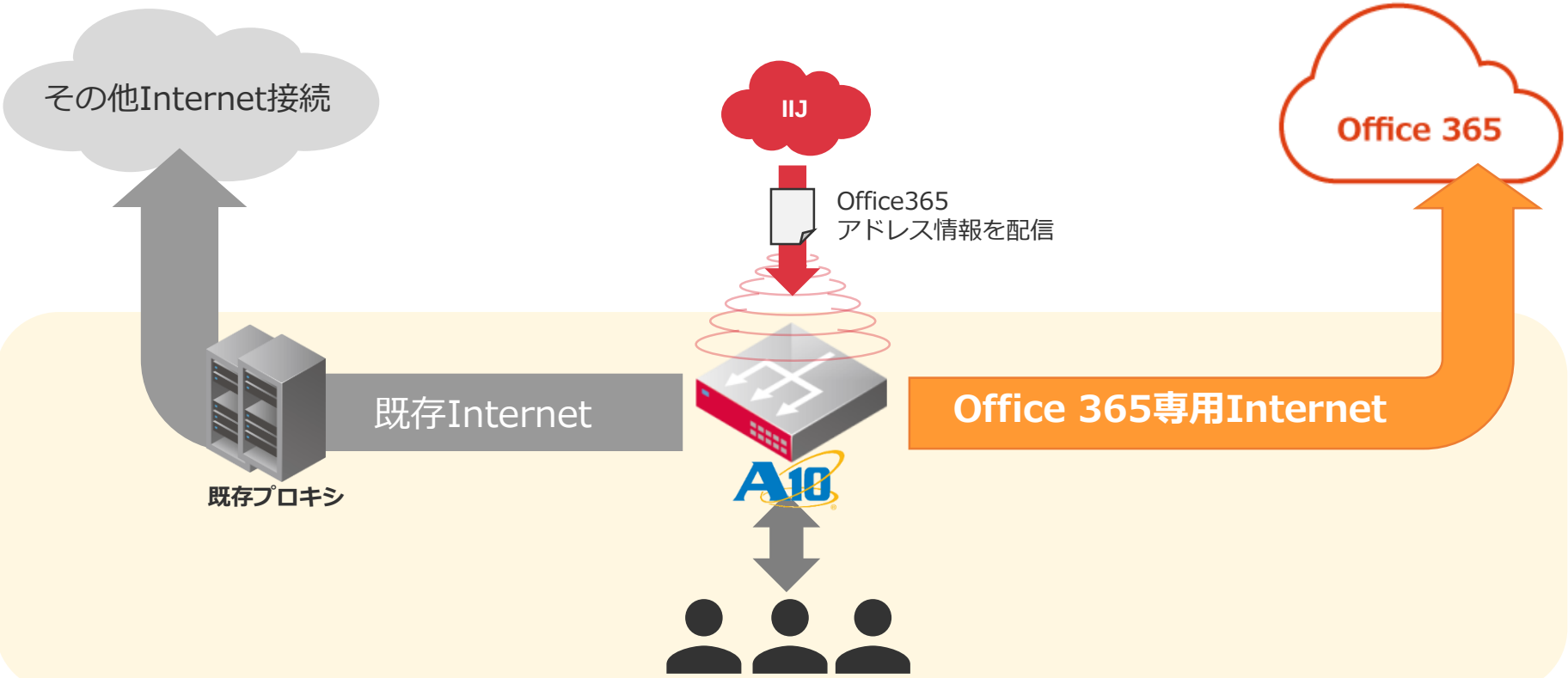
Office 365の経路振り分けの自動化を実現

課題

- O365の**煩雑な**ルーティング設定・・・
- プロキシサーバの**負荷**・・・
- ExpressRouteなどの**専門知識**・・・

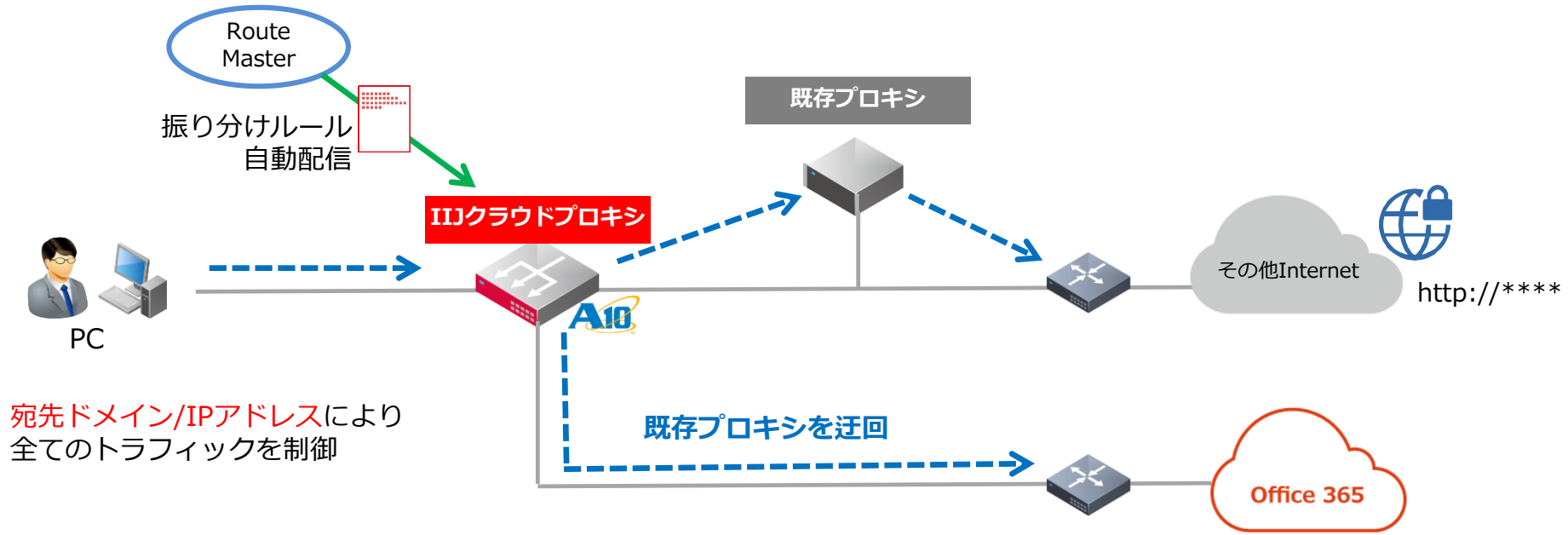
解決

- O365通信とそれ以外を宛先毎に振分け！
- O365のIP,URL情報をIIJがご提供！
- 経路情報自動更新により**運用負荷軽減**！



proxy.pacによる運用は不要

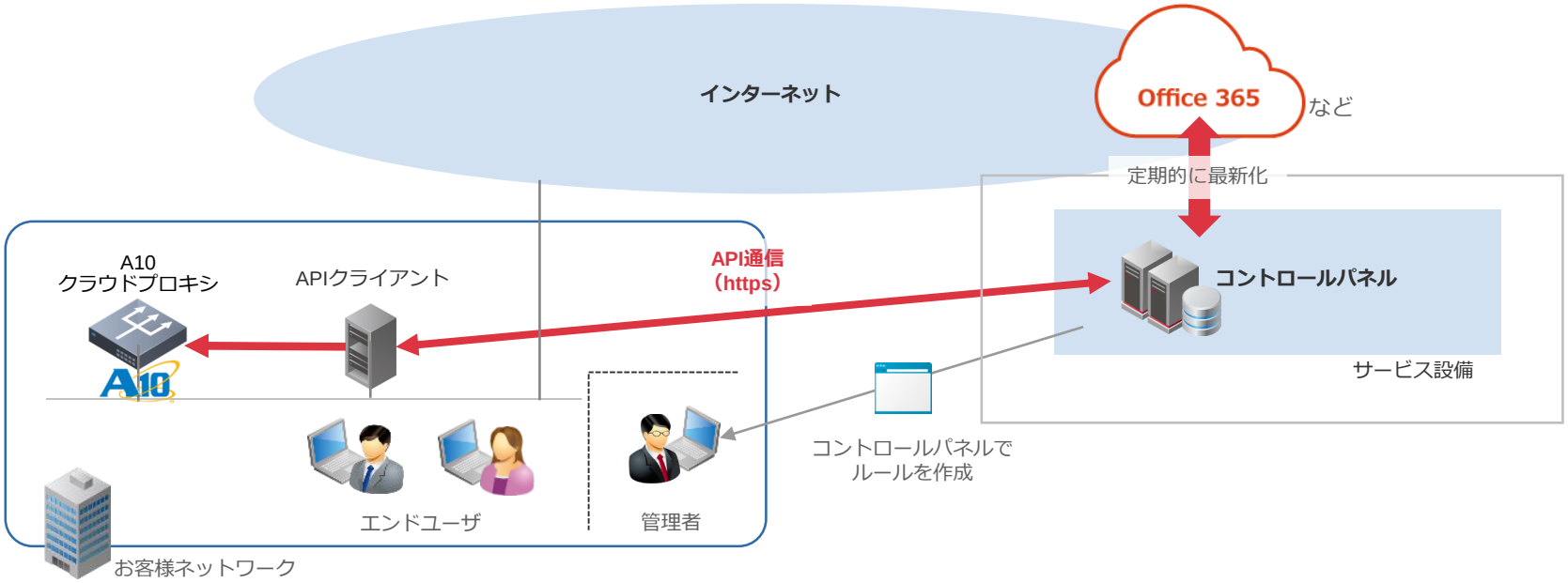
PCのプロキシ先をクラウドプロキシに向け変えるだけで、登録した宛先に応じて経路の振り分けが可能



プロキシ接続時の宛先ドメイン/IPアドレスに従って経路の振り分けを行う

サービスとオンプレ機器を連携し、ルールの適用を簡単に

オンプレミス環境のA10連携。振り分けルールは、コントロールパネルで個別に設定可能。頻繁に更新されるOffice 365をはじめとするクラウドサービスの宛先情報を自動で取得し更新するため、お客様が情報を追従する必要がなくなります。



【お客様にてご準備いただくもの】

- ✓ サービス設備とAPI通信するAPIクライアントの準備※1
- ✓ 自社クラウドプロキシに設定を投入する部分の開発
- ✓ 出口IPアドレスをIIJに開示

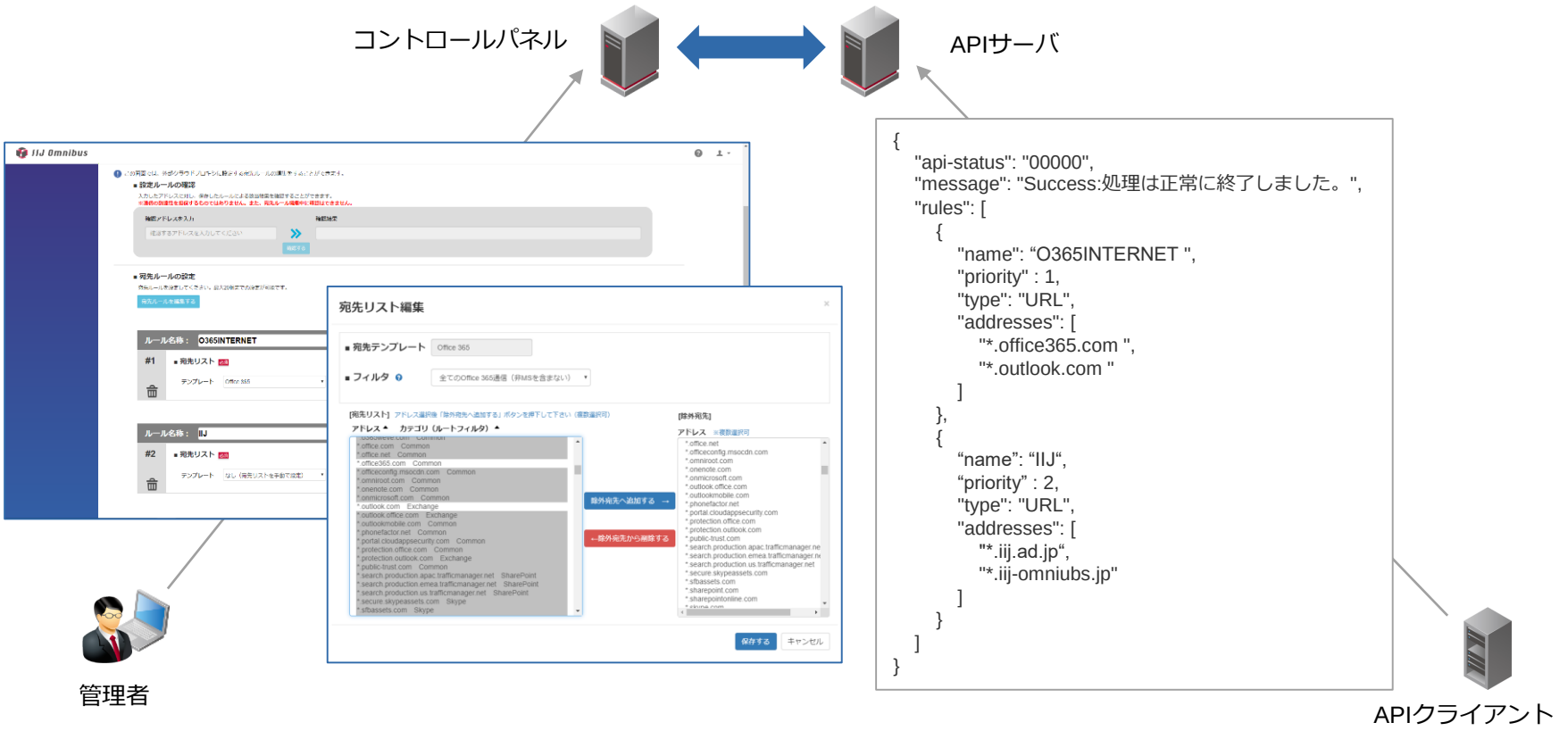
※ 1：APIコールの結果、取得した情報を整形し、他社クラウドプロキシに設定投入するpythonサンプルコードを提供します。ただし、IIJが指定した機器及びバージョンに限ります。

※ 2：開発の請け負いではなく、あくまで導入までの支援となります。

APIクライアント構築のご支援※2も可能です。

UIで宛先ルールを作成、APIで取得することが可能

コントロールパネルからOffice 365の宛先をフィルタリングできるため、APIでは必要な情報のみを取得できます。



他の宛先リストを追加することができ、自社設備内のクラウドプロキシの振り分けルールのマスタとする使い方も可能です。

お客様の環境に応じて、柔軟な組み合わせが可能

基本機能として宛先リストテンプレートをご提供。クラウドプロキシは、サービス提供のクラウドバイパスとお客様環境の機器から選択できます。

宛先の自動追従、ルールの管理などの共通機能

基本機能

宛先リストテンプレート
特定クラウドサービスの宛先リストを自動更新。
振り分け先指定のテンプレートとしてご利用いただけます。

- 最新情報の取得、通知
- 独自フィルタグループの定義

＋

クラウドプロキシを選択

サービス提供機能のご契約の場合
クラウドバイパス

- セッション数単位
- リージョン選択
- ルールによる振り分け
- インターネット接続の提供
- コンパネ提供
- 振り分けログ提供

お客様設備機器をご利用の場合
外部クラウドプロキシ連携

- コンパネ提供
- 接続元IP制御
- API提供
- サンプルコード提供

＋

有償オプション

- IIJインターネットアクセスサービス接続オプション（INA接続オプション）※1

※1：クラウドバイパス専用オプションです。

最新化はサービスに任せ、ルール作成をより簡単に

Office 365をはじめとしたクラウドサービスは、日々FQDNやIPアドレスが更新されます。
本サービスはこれに追従し、最新化された宛先リストテンプレートを提供します。

管理者の負荷軽減に

- 宛先リスト更新の手間の削減
- 更新時に変更リストをメールで通知
- 通知がコントロールパネルでの設定変更のトリガに
- 定時に新しい宛先リストを更新

ルール作成のガイドとなるフィルタグループを用意

明らかにMicrosoftではないFQDNを簡単に除外できるよう、IIJが独自に分類します。

Office 365のURLとIPアドレスの範囲（https://docs.microsoft.com/ja-jp/office365/enterprise/urls-and-ip-address-ranges）

- このリストの中には**Office 365（Microsoft）以外のアドレスも含まれている**
- このリストをただ取り込むだけでは、**プロキシでフィルタしているサイトへアクセスできてしまう**

68	既定 省略可能 メモ: ポータルおよび共有: サード パーティの Office の統合 (CDN を含む)	い い え	*.helpshift.com, *.localytics.com, analytics.localytics.com, api.localytics.com, connect.facebook.net, firstpartyapps.oaspapps.com, outlook.uservoice.com, prod.firstpartyapps.oaspapps.com.akadns.net, rink.hockeyapp.net, sdk.hockeyapp.net, telemetryservice.firstpartyapps.oaspapps.com, web.localytics.com, webanalytics.localytics.com, wus-firstpartyapps.oaspapps.com	TCP: 443

以下から必要なものを選択し、ルールを作成できます。

- すべてのOffice 365通信（非Microsoftを含む）
- すべてのOffice 365通信（非Microsoftを含まない）
- Office 365通信（必須＋ExpressRoute相当）
- Office 365通信（ExpressRoute相当）

お客様の環境に応じて、柔軟な組み合わせが可能

基本機能として宛先リストテンプレートをご提供。クラウドプロキシは、サービス提供のクラウドバイパスとお客様環境の機器から選択できます。

基本機能

宛先リストテンプレート
特定クラウドサービスの宛先リストを自動更新。
振り分け先指定のテンプレートとしてご利用いただけます。

- 最新情報の取得、通知
- 独自フィルタグループの定義

＋

クラウドプロキシを選択

サービス提供機能のご契約の場合
クラウドバイパス

- セッション数単位
- リージョン選択
- ルールによる振り分け
- インターネット接続の提供
- コンパネ提供
- 振り分けログ提供

お客様設備機器をご利用の場合
外部クラウドプロキシ連携

- コンパネ提供
- 接続元IP制御
- API提供
- サンプルコード提供

IIJサービス単体の場合はこちら！

＋

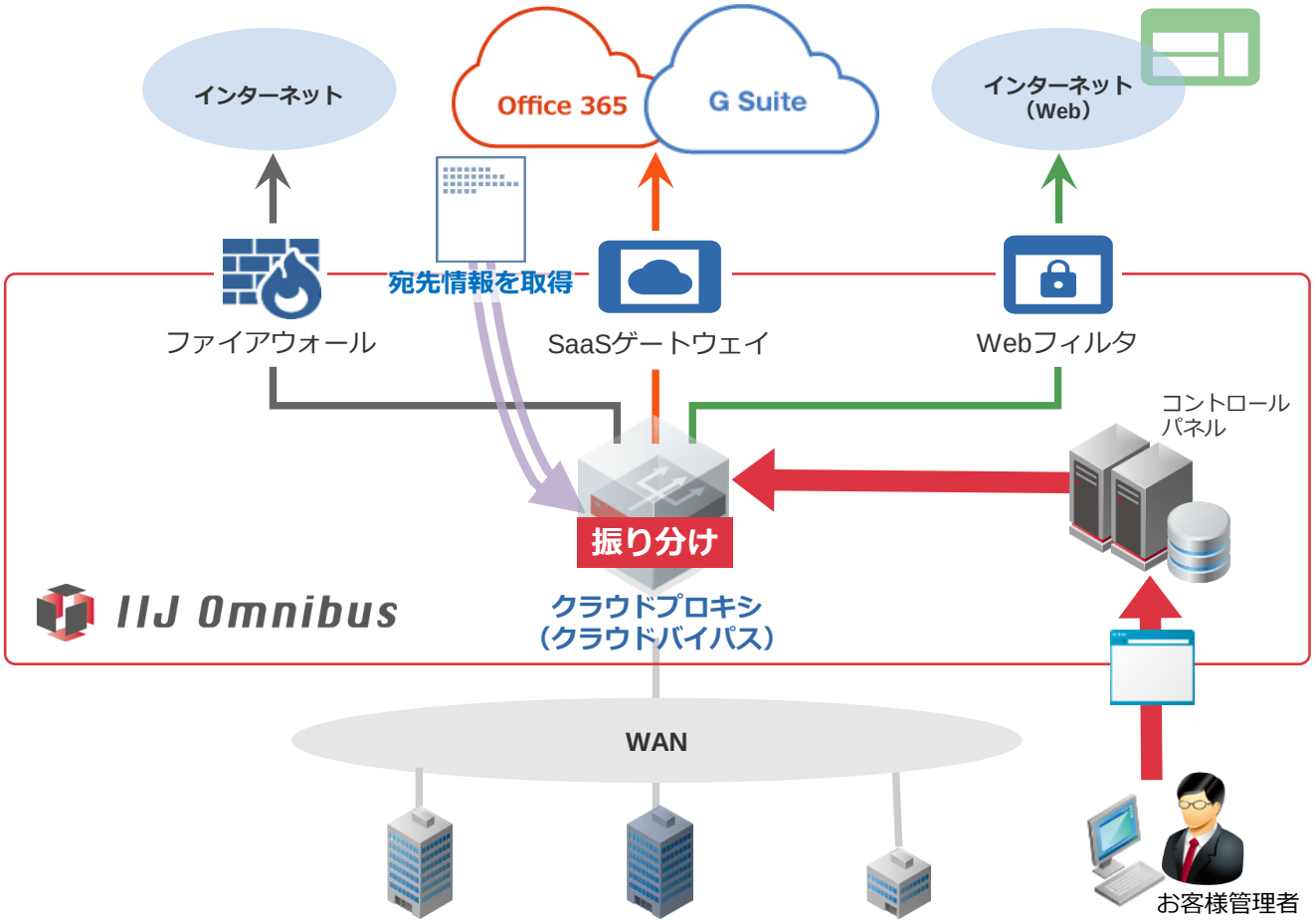
有償オプション

- IIJインターネットアクセスサービス接続オプション（INA接続オプション）※1

※1：クラウドバイパス専用オプションです。

振り分け機能を、クラウド設備でも実現

クラウド上に通信を振り分ける環境をご用意。お客様の通信を適切に振り分けることで、ファイアウォール、プロキシなどの機器への負荷を軽減できます。



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ――IIJはいつもはじまりであり、未来です。

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。文中では™、®マークは表示しておりません。本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

IIJ-BKLT116-0009
20200618